



塚本 逸彦 議員
(政清会)



明野ヶ丘公園再整備基本計画の策定過程では、子どもたちを含むファン・プロジェクト・まくべつでのワークショップを行い、公園の未来像など、より使いやすい施設整備や楽しく過ごすことが出来るアイデアが出された。

その後も継続して協議したファン・プロジェクト・まくべつは終了し、公園の再整備を進めていく段階かと思うが、観光資源としての側面も大きく、ソフト面で検討される要素もあると考えることから、以下の点について伺う。

(1)本年度の明野ヶ丘公園のメンテナンスを含め、再整備基本計画の進捗状況は。
(2)観光資源としての公園の再整備について、町としての考えは。

町長

(1)昨年度までに開催した「ファン・プロジェクト・まくべつ」の意見を取り入れた基本設計の取りまとめを行っている。加えて、本年4月に民間活力導入を検討するため

問 明野ヶ丘公園再整備計画について

答 「ピラ・リ」周辺から段階的に整備していく

のアンケート調査を実施し、8社から事業参入に興味があるとの回答を得たことから、これらの事業者から整備手法や管理方法について意見を伺っているところである。

今後は、基本計画で定めた「賑わいと交流ゾーン」、「森を楽しむ健康ゾーン」、「自然環境を活かしたゾーン」の三つのゾーンごとに段階的な整備を想定しており、第1段階として、「ピラ・リ」周辺の「賑わいと交流ゾーン」の整備を優先すべきと考えている。

(2)イベントを通して人が集うきっかけをつくり、子どもたちが公園内の豊富な自然環境の中で自由に遊び学べ、今あるものを活用しながら時代のニーズに対応した公園となるよう再整備を目指している。

新たな機能を持った施設を整備する予定はないが、基本計画に基づき、「ピラ・リ」やスキー場などの既存の資源を最大限活用しながら、住民ニーズや民間事業者との協議を踏まえた上で、公園の再整備を行っていく。



明野ヶ丘公園「ピラ・リ」

問 コミュニティ・スクールや地域学校協働活動について

答 啓発活動に努め、更なる推進に努めていく



本年度はコミュニティ・スクールや地域学校協働活動も議論から実行への年となり、教育委員会や各学園の尽力で、いよいよ具体的な活動に向かって動き出す中、各学園はそれぞれの違いがあり、地域住民の認知は十分とは言えない状況であると考え

ることから、以下の点について伺う。

(1)本年度のコミュニティ・スクールや地域学校協働活動に関する啓蒙活動の取組は。
(2)教育委員会内に地域学校協働活動の統括コーディネーターの配置体制は。

教育長

(1)小中一貫・CS通信や学園だより等を町ホームページに掲載するなど、啓発活動に取り組んでいるほか、「幕別町小中一貫教育・CS推進連絡会議」における各学園間での交流等を通じて地域住民等の理解の促進に努めている。

新たに、昨年度各学園で作成した「まるわかりサポーター」を保護者や地域へ配布することで、新規サポーターの掘り起こしにつなげるなど、更なる啓発活動に努めていく。

(2)「幕別町CS・地域学校協働活動推進委員会」の中に学校教育推進員1名を、統括コーディネーターとして位置付けた。各学校運営協議会への助言・指導や連絡調整などのほか、地域住民等の継続的な参画を促すための啓発活動など、伴走支援体制の強化を図ることで、コミュニティ・スクールおよび地域学校協働活動の更なる推進に努めていく。